

菅原 潤

環境行政について

【問】環境基本計画は、環境保全条例に基づき策定される場合が常であるが、この計画と条例策定の進捗状況はどうか。環境基本計画は、市総合計画との整合性が図られていないれば実効性を図るとともに、市が策定する各種計画の上位に位置する計画として、市の各種計画の中に環境基本計画の精神が生かされていなく

てならないと思う。どのように取り組んでいくのか。人と自然との共生について、共生の概念を市長はどうとらえているのか。まちづくりのあり方や自治体のあり方など、幅広い局面で自然との共生共生を目指すかどと考える。市が事業を実施するとき、大きな要素として取り入れてもらいたい。「共生」は「ともに生きる」ととらえてもらいたい。

【答】昨年11月に環境基本条例を策定し、現在、環境基本計画策定の準備を進めている。この4月には国の環境基本計画も閣議決定がなされ、新たな方向性が示されたことから、国の環境施策と市総合計画との整合を図りながら、市民からの御意見をいただき市の環境基本計画を策定したい。



北の吉備路で行われた自然観察会

自然との共生については、今の人間生活が様々な分野において、地球環境に過

度の負担をかけており、地球に寄生しているような状況であると認識している。地球温暖化も人間のライフスタイルが原因であり、地球を救うのも人間しかないと考えている。環境に配慮した小さいことからの積み重ねが大切であり、市の事業を進める上には環境を守ることを基本に実施したい。

赤澤 康 宏

地域ぐるみの学校安全について

【問】清音地区では国の補助を受け、公民館や支所を窓口

【答】市内には清音地区で行っているような取り組みを、PTAやコミュニティ

剣持 堅 吾

財政状況について

【問】平成17年度当初予算の段階では年度末の主要5基金の残高が22億円と

【答】主要5基金の残高を44億円以上確保できる見通しとなった。地方交付税が予想以上に確保されたこと、各種交付金等歳入の財源が確保されたこと、歳出全般の見直しを行ったことがその要因である。今後の課題としては、引き続き職員採用を退職者の1割以下

【問】障害者自立支援法が施行され大きな期待を抱いたが、実際には障がいを抱える方の自己負担がふえ、不安が広がっている。マイナズ面が目立つが、このような状況をどのように認識しているのか。総社市として独自に取り組む施策を考えてほしい。就労支援の実態をどうとらえ、今後どう取り組んでいくのか。

丹下 茂

障害者自立支援法について

【答】4月から利用料を1割、施設入所者には食事等の実費を負担いただいている。10月からの本格的なサービス利用に向け障害程度

【問】平成19年度は部制を含むめた機構の見直しを行うとしているが、何を見直すのか。かけがえのない子どもの命を守るため、地方制度調査会の答申や教育基本法改正案に鑑み、今こそ教育改革（機構の見直し）をすべきと考えるがどうか。また、縦割り行政のため、公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の窓口が別々だが、市民の視点に立つとひとつにしてはどうか。

機構改革について

【問】平成19年度は部制を含むめた機構の見直しを行うとしているが、何を見直すのか。かけがえのない子どもの命を守るため、地方制度調査会の答申や教育基本法改正案に鑑み、今こそ教育改革（機構の見直し）をすべきと考えるがどうか。また、縦割り行政のため、公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の窓口が別々だが、市民の視点に立つとひとつにしてはどうか。

秋山 律 郎

総合計画について

【問】将来都市像を「地域・豊かな生活交流都市」と掲げ総合計画を策定中であるが、厳しい財政状況の中、市民の望むすべての事業を実施していくことは困難であり、事業の取捨選択、重点的な予算投入が必要となる。どのような部門に力を入れるのか。大きな事業をするのではなく、市民要望の高い、身近なことに力を入れてもらいたい。

【答】市民アンケート等では、福祉都市の要望が多い。

安全・安心のまちづくりについて

【問】市街地中心部の道路はバリアフリー化のまちづくりということで歩道の整備が進められているが、主要幹線道路でも歩道の設置さえなされていない道路が多く見られる。幹線市道についても必要に応じて整備していくべきではないか。

【答】総社駅東地区においては、国の補助を受けた



バリアフリー化した市役所通り

【問】市街地中心部の道路はバリアフリー化のまちづくりということで歩道の整備が進められているが、主要幹線道路でも歩道の設置さえなされていない道路が多く見られる。幹線市道についても必要に応じて整備していくべきではないか。

【問】市街地中心部の道路はバリアフリー化のまちづくりということで歩道の整備が進められているが、主要幹線道路でも歩道の設置さえなされていない道路が多く見られる。幹線市道についても必要に応じて整備していくべきではないか。

【問】市街地中心部の道路はバリアフリー化のまちづくりということで歩道の整備が進められているが、主要幹線道路でも歩道の設置さえなされていない道路が多く見られる。幹線市道についても必要に応じて整備していくべきではないか。